

花乃井だより

学校
通信

令和3年2月22日(月)

第51号

大阪市立花乃井中学校

2月18日は『雨水』

先週2月18日(木)は24節気の2番目「雨水」でした。空から降るものが雪から雨に変わり、氷が溶けて水になるなど、寒さも峠を越える頃という意味があります。



《本校正門横の紅梅と白梅》

「立春」に続いて、草木が芽生え始める頃でもあり、昔から農耕の準備を始める目安とされてきました。春一番が吹くのもこの頃（もっとも今年はすでに各地で春一番が観測されていますが……）にあたります。今後、三寒四温を繰り返しながら、春になっていくことと思います。とにかく季節の変わり目。体調にはくれぐれも気をつけましょう。先週は雨やグラウンドコンディションの関係で全校集会が流れました。今週の全校集会は天候にも恵まれ、2月最後の週（テスト週間）を悔いなく過ごすことを確認しました。大阪市絵画・写真コンクールの佳作賞やサッカーブロック大会優勝の賞状伝達も行われました。

学校長の話より

先週までの3年生の高校入試の成果は見事なものでした。3年生の皆さん本当に頑張りました。あと残るは公立一般選抜のみになりましたが、最後まであきらめずに第一志望校を勝ち取ってください。皆さんなら絶対『大丈夫』!!

1・2年生の皆さんも今週は学年末テストがあります。本年度の総締めくくりとしてしっかり頑張りましょう。また、本年度の反省をして、来年度への決意を固める時期もあります。様々なことがあった本年度。来年へ向けて決意するときに1つ気をつけてほしいことは、「自分に少し厳しめに考えてみてください。」ということです。

例えば「カーリング」。このスポーツはセルフジャッジでプレーをします。セルフジャッジとは、対戦相手同士のみで判定しながら試合を進めることです。ストーンに触ることは反則ですが、少しぐらいだと多くは分かりません。自分のミスを正直に申告することは勇気がいることですが、素晴らしいことです。ズルをすると相手から信じてもらえなくなり、自分も相手を信じられなくなります。お互いの不信感のみが大きくなつた中では、まともなプレーはできなくなります。それではセルフジャッジは成立しません。それにミスをご

まかしてしまうと自分自身も気持ちよくないし、後で後悔してしまいます。自分に恥じない行動をする。これがフェアプレーの精神の1つです。

また、これは普段から心がけなければいけないことでもあります。「少しぐらいズルしても…」「誰もみていないし、バレることはない…」など、自身の悪い気持ちや弱い気持ちに負けてしまってはいけないです。次への大きなステップとなるのは、節目節目の時期にズルをしないでしっかり反省し、次への決意を固く固く固める事なのです。

読書進んでいますか？

皆さん最近は良い本に出合えてますか？ 何かと忙しい毎日ですが、読書は心の栄養の1つです。毎日

団体休み前に図書委員会より図書館

開館の放送が流れますが、「良書は自身の人生を変えてくれる」といわれています。たくさん読んで、そういう一書に早く出会ってください。

【校長のおすすめ】

今回は、及川和男さん著作の「村長ありき（沢内村・深沢晟雄の生涯）」を紹介します。

深沢晟雄（ふかさわまさお）さんは実在の人物で、彼を主人公として生涯をまとめたものです。彼は岩手県の沢内村というところで村長を務め、多くの村民の命を救った名村長として今なお尊敬されています。その村は豪雪をはじめとする種々最悪の自然条件にあり、人々の生活は貧困や多病多死にあえぐ毎日でした。そんな村で「奇蹟」と呼ばれる生命行政を樹立し、やがて日本一の福祉村に甦らせた彼の生きざまからは、まさに『あきらめを希望に変えた男』として、多くのことを学ぶことができます。彼がつくり上げた村がいったいどういうものなのか、その素晴らしさを是非とも感じてください。

プールがきれいになりました!!



プールの床・壁面の改修塗装工事がほぼ終了しました。床面の表示線は濃紺色と赤色に、飛び込み台は鮮やかな赤に、そしてプールサイドもきれいな緑と青によみがえりました。まだ水は入っていませんが、暖かくなつて泳げる日が来るのが楽しみですね。



《図書委員会の図書紹介コーナー》

